

資産運用レポート：「グリッチ」でリッチに

1 はじめに

私のような物書きは、メルマガにせよ、レポートにせよ、ネタを見つけるまで一苦労します。無料のメルマガといえども、面白くなければ読んでもらえません。レポートに至っては、代金をいただいているだけに、それに見合う価値を提供する必要があるからです。

とある日の朝も、憂鬱な気分でネット上を徘徊していました。この資産運用レポートのネタが見つからず、困っていたのです。心の中で「ああ、今日もネタ探しに明け暮れる、生産性のない日を過ごしてしまうのだろうか」とつぶやきながら・・・。

そうこうしているうち「グリッチ」という聞きなれない言葉に突き当たります。「なんだ、これ？」と思い調べてみると、成長株投資で知られているフィリップ・フィッシャーの息子で、運用の仕事をしているケン・フィッシャーが著書『ケン・フィッシャーのPSR株分析』で提唱している概念でした。

ところが本書は既に絶版となっており、古本にも高値が付いています。やむを得ず、電子書籍をダウンロードして、一気に読み込んだところ「これはバリュー投資で使える投資アイデアに違いない」と確信しました。今回の資産運用レポートでは「グリッチ」について取り上げます。

★ケン・フィッシャーのPSR株分析



2 グリッチとは

グリッチとは、新興企業の成長期にありがちな、経営判断の誤りによる一時的な業績不振を指します。ドラフト上位で入ってきた期待の新人が、出だしこそ良かったものの、その後スランプに陥り悩んでいる「阪神の藤浪」状況だと思ってもらえれば分かりやすいです。